学校番号	３０４

令和３年度　芸術科美術

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	美術１「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵画制作、デザイン、立体彫刻、鑑賞の4分野について学ぶ
デッサンやアクリル絵の具の用具の基本的な使い方を再確認、習得させる。
観察して、表現する基礎的な力を身近なものを対象に学ばせる。
自己の内面表現、個性有る作品作りを考えさせ、集中力洞察力をたかめる。

２　学習の到達目標

創作活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術や芸術文化に関心を持ち、個性有る創造力の向上、創作に対する意欲、制作に取り組む態度と熱意	自己を追求し、個性ある作品作りをめざし、 常に自己との対話を欠かさず制作し他人との比較でなく目指すものを形にしていく。	創意工夫を生かした作品つくりを念頭に置き発想したものを表現するために用具、画材を活用しているか	中学までの知識をもとに制作していく中で自分に合った表現方法をクリエイトしていく
評価方法	観察 提出作品	観察 提出作品	観察 提出作品	観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	美術履修	オリエンテーション	○				a:美術の多様な表現に関心を持つ	
	素描	鉛筆の使い方、グラデーション 鉛筆デッサン、自作した幾何形体のデッサン	○		○		a:用具の使用方法を理解しているか ｃ:遠近法、陰影、質感、基本的な明度表現、鉛筆の使い方ができているか	観察 課題作品
	色彩練習	色彩グラデーション 色彩によるトーンの練習	○		○		a: 基本的な色彩表現を理解し制作に集中できたか ｃ: 基本的な色彩グラデーション、色出し、筆の使い方、混色について理解できているか	観察 課題作品
二学期	絵本作り	自分で作りたいテーマを作品にする		○	○		b:創造性、構成力はあるか c:作品の意図を明確にするための工夫はされているか	観察 課題作品
	木彫	同一課題の鳥の制作 動物をリアルに木彫	○		○		a:素材の特徴を理解しレリーフするための方法を理解できたか c:木彫の手順を理解し計画的に彫り、制作に集中できたか	観察 課題作品
三学期	切り絵	同一課題３面 自由課題３面	○		○		a:きり絵についての技法、用具 ｃ:色彩感覚をいかして制作、カッティング方法を理解して制作できたか	観察 課題作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。